

教職員研究グループ活動状況報告書

代表者の所属・職・氏名	洲本市立加茂小学校 教諭 坂田 知子	研究グループ名 ( 加茂小道德教育推進研究会 )
-------------	-----------------------	-----------------------------

研究テーマ分類番号 ( 4 )

(1)研究テーマ	
道德教育研究 ～体験活動との関連を図った道德の時間の指導の在り方～	
(2)研究経過及び具体的な取組	
6月 1日	研究組織立ち上げ
6月 4日	研究計画の作成 ・実施場所：加茂小多目的室 8名 ・内 容： 児童の実態について道德的価値項目を参照しながら分析 「規範意識」「思いやり」「自尊心」の3点に課題があることを確認 育成シートを作成し、体験活動と道德の時間の関連を図った取組実践開始
6月18日	体験活動「運動会」と関連させた資料「さとの心」を用いた研究授業 (3年2組) ・実施場所：加茂小校長室 8名 ・成果と課題： 授業のねらいである価値項目につながる体験が、児童から自然な形で想起され話し合いの題材として出されていた。 体験活動のための道德の時間や道德の時間のための体験活動にならないように、資料のお話十分に浸らせることが大切である。
7月11日	課題の検証 ・実施場所：加茂小校長室 8名 ・内 容：「運動会」「なかよし給食」と道德の時間を関連させた取組から、児童の自覚された成長と自覚された課題について検証した。 ・成果と課題：道德の時間と体験活動だけでなく、学級会での話し合いの時間とも関連を図ることで、児童の行動に変容が見られた。
8月 9日	講師を招聘した研修会 ・実施場所：(加茂公民館 15名参加) ・内 容：「豊かな心を育む道德教育 ～資料の選択と授業のあり方～」 学年層に分かれて資料を用いた授業案作り(中心発問と補助発問を中心として) ・講 師：兵庫教育大学准教授
9月21日	体験活動「なかよし集会」と関連させた資料「絵地図の思い出」を用いた研究授業(6年1組) ・実施場所：加茂小校長室 8名 ・成果と課題：児童それぞれ登場人物の様々な考え方についてとらえた上で、道德的価値を高められていた。
10月3日	育成シートをもとにした検証 ・実施場所：加茂小校長室 8名 ・内 容：「あいさつ運動」についての児童の「自覚された成長」と「自覚された課題」について育成シートをもとに検証 ・成 果：学校評議委員会で児童のあいさつが増えてきたとの評価をいただく。継続してあいさつの意義を考え、取り組むことが大切であることが分かった。
11月6日	兵庫版道德教育副読本を用いた授業公開後の事後研究 ・実施場所：加茂小校長室 8名 ・成 果： 副読本の登場人物をよく知る地域ボランティアによるメッセージは、より具体性を持って児童の心に届いた。 保護者ととともに考える「ゆめ」は、保護者にとっても親子で話し合うよい機会となった。